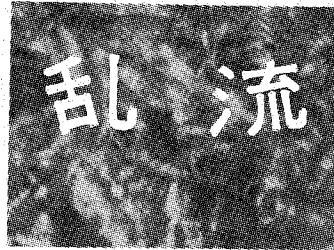


☆日食余聞 さる7月21日の日食は、毎度のことながら、観測班、報道関係者、一般観衆ともに、晴曇には一喜一憂した。樽前山は観測班がでかけたために、ここへも大勢の人々がおしよせたが、その中の小話：某大学生の一行をのせたバスが夜中にふもについて、時刻までに何でも高く登れと足にまかせてのぼり出した。最も健脚組が登った頂上はくもり、8,9合目が晴れて中庸の速度のだけが太陽が見られ、最もろま組のところは曇りとは、イソップ物語にしても話がうまくできすぎているようです。

本号の記事にもあるように、報道班の物量は観測班を嘆かせたが、NHKが今回の日食にかけた費用は600万とか、これは筆者が車中でテレコをかついだNHKさんから聞いた話し、また別の人は1000万と聞いた由、いずれにしても大したものだ

が、全国で、日食にいて曇られた筆者等よりも、ずっとよく日食を見ている、この報道の偉力は称えられてよいでしょう。

★前山仁郎氏の計 長年東京天文台で暦計算を担当されていた本会理



事前山仁郎氏は、さる8月10日急病のため逝去された。謹んで哀悼の意を表する。

☆人の動き 水路部長塚本裕四郎氏はさる7月退職された。また8月19日からカリフォルニア州パークレ

で開かれた IUGG の総会に我が国から出席の天文関係者は広瀬東京天文台長、坪川国土地理院測地部長、弓 IPMS 中央局長代理の諸氏である。

☆海外天文家の動き 1948年パロマー天文台の創立以来台長としての重責についてきたパウエン博士は、来年7月1日退任して、バブコック (Horace W. Babcock) が後を襲う予定とのこと。バブコックは父 Harold と共に太陽のマグネトグラフを作ったので知られている。

かつて42年の長きにわたりウィルソン山天文台の台員であったニコルソンは7月3日71才で世を去った。彼は学生時代にリック天文台で木星の第IX衛星を発見したが、その後ウィルソン山で第X, XI, XIIの衛星を発見した。プチイと共同での熱電堆による月、惑星、恒星の幅射の測定はよく知られている。



新発売!!

普及型

10センチ 反射望遠鏡 (経緯台)

※口径100ミリ ※焦点距離900ミリ ※倍率72倍 ※アイピース12.5ミリ1個 ※接眼部ラックピニオン付、上下微動装置完備 ※木製三脚 ※水平微動付 3,000円

- 超特価 18,500円 円 1,500円
ファインダー付 (口径30ミリ6倍) 2,400円増
- 8cm簡易赤道儀 特価9,800円 円 1,000円

皆様の工作室「清原光学」が、すばらしい新型を発売しました。性能価格共に絶対に他社の追随を許しません。光学部品は標準型と同じですから最高の見えの良さを保証いたします。その他、自作用部品もありますからご相談下さい。

(切手10円2枚同封)

東京都新宿区東大久保2-271 振替東京8643

清原光学研究所



◎ カンコー天体反射望遠鏡

二十糎CG式焦点距離二段切換
天体反射望遠鏡

- ★ 天体望遠鏡完成品各種
- ★ 高級自作用部品
- ★ 抛物面鏡、平面鏡、軸外し抛物面鏡
- ★ アルミニウム鍍金
- ★ 電源不要観光望遠鏡 (カタログ要 30円切手)

関西光学研究所

京都市東山区山科竹鼻 TEL 京都 06 0057

昭和38年9月20日	編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内	広瀬 秀 雄
印刷発行	印刷所 東京都港区芝南佐久間町一ノ五三	笠井出版印刷社
定価70円(送料6円)	発行所 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
地方売価75円		振替口座東京13595